平成26年3月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上 場 会 社 名	株式会社ファンケル		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	4921	URL	http://www.fancl.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長執行役員	(氏名)宮島　和美	
問合せ先責任者	(役職名)取締役常務執行役員 グループサポートセンター長	(氏名)島田　和幸	TEL 045-226-1200
四半期報告書提出予定日	平成26年2月12日		
配当支払開始予定日	ー		

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(１)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	59,807	△4.5	1,713	△28.6	2,018	△27.1	160	△90.4
25年3月期第3四半期	62,603	△8.5	2,397	△30.8	2,768	△17.9	1,674	△10.7

(注)　包括利益　26年3月期第3四半期　164百万円(△90.2%)　25年3月期第3四半期　1,684百万円(△8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年3月期第3四半期	2.51	2.50
25年3月期第3四半期	25.80	25.68

(２)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	81,316	70,942	86.6
25年3月期	86,849	74,542	85.3

(参考) 自己資本　26年3月期第3四半期　70,447百万円　25年3月期　74,081百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年3月期	―	17.00	―	17.00	34.00
26年3月期	―	17.00	―		
26年3月期(予想)				17.00	34.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	79,500	△4.0	2,700	△30.0	3,000	△32.2	750	―	11.56

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	65,176,600株	25年3月期	65,176,600株
②　期末自己株式数	26年3月期3Q	1,628,633株	25年3月期	269,757株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	64,000,608株	25年3月期3Q	64,885,194株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）５ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 6
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6

３．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
四半期連結損益計算書 …… 9
四半期連結包括利益計算書 …… 10
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 13
（セグメント情報等） …… 13
（重要な後発事象） …… 14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成24年末以降の株高を背景とした消費者マインドの好転により個人消費が堅調に推移しており、設備投資も企業業績が改善するに伴い徐々に持ち直すなど、緩やかに回復しております。海外経済の不確実性が先行き懸念されますが、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果も加わり、回復基調を強めていくと期待されます。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、栄養補助食品関連事業が前年同期を下回ったほか、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を第１四半期連結累計期間に当企業集団外へ譲渡したことなどにより減収となり、全体では59,807百万円(前年同期比4.5%減)となりました。営業利益は、マーケティング費用が前年同期に比べて減少したものの、売上高の減少により1,713百万円(前年同期比28.6%減)、経常利益は2,018百万円(前年同期比27.1%減)となりました。四半期純利益は、特別損失に台湾およびシンガポールの小売事業からの撤退ならびに台湾現地法人の解散を決定したことに伴う事業撤退損891百万円を計上したことなどにより160百万円(前年同期比90.4%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は34,348百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

	平成25年３月期 前第３四半期連結累計期間		平成26年３月期 当第３四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	27,885	79.7	27,765	80.8	△0.4
アテニア化粧品	5,904	16.9	5,730	16.7	△3.0
その他	1,189	3.4	853	2.5	△28.3
合計	34,980	100.0	34,348	100.0	△1.8

	平成25年３月期 前第３四半期連結累計期間		平成26年３月期 当第３四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	17,567	50.2	17,311	50.4	△1.5
店舗販売	11,650	33.3	11,814	34.4	1.4
卸販売他	1,710	4.9	1,318	3.8	△22.9
海外	4,052	11.6	3,903	11.4	△3.7
合計	34,980	100.0	34,348	100.0	△1.8

ファンケル化粧品は、海外が振るわなかったものの、国内においてリニューアル発売した「洗顔パウダー」や「マイルドクレンジングオイル」が好調に推移したことなどにより、前年同期並みの27,765百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

アテニア化粧品は、再建に向けた構造改革を行う中、5,730百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は17,311百万円(前年同期比1.5%減)、店舗販売は11,814百万円(前年同期比1.4%増)、卸販売他は1,318百万円(前年同期比22.9%減)、海外は3,903百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

営業損益

損益面では、マーケティング費用が減少したことなどにより、営業利益は2,843百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、19,142百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

	平成25年３月期 前第３四半期連結累計期間		平成26年３月期 当第３四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	8,133	40.0	7,684	40.1	△5.5
店舗販売	4,546	22.4	4,556	23.8	0.2
卸販売他	5,546	27.3	5,138	26.9	△7.4
海外	2,100	10.3	1,762	9.2	△16.1
合計	20,327	100.0	19,142	100.0	△5.8

製品面では、ダイエットサプリメント「カロリミット」が前年同期並みを維持したものの、その他製品が振るわず減収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は7,684百万円(前年同期比5.5%減)、店舗販売は4,556百万円(前年同期比0.2%増)、卸販売他は5,138百万円(前年同期比7.4%減)、海外は1,762百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

営業損益

損益面では、減収となったほか、新規のお客様獲得のためにマーケティング費用を増加させたことや、新製品に対するプロモーションを実施したことなどにより営業利益は380百万円(前年同期比72.2%減)となりました。

③　その他

売上高

その他の売上高は6,317百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

	平成25年３月期 前第３四半期連結累計期間	平成26年３月期 当第３四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米事業	2,239	2,129	△4.9
青汁事業	2,496	2,411	△3.4
その他の事業	2,559	1,775	△30.6
合計	7,296	6,317	△13.4

発芽米事業は、卸販売他は堅調だったものの、通信販売が振るわず、2,129百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

青汁事業は「本搾り青汁 プレミアム」および「本搾り青汁 大豆プラス」が堅調だったものの、その他製品が振るわず、2,411百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

その他の事業は、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を当企業集団外へ譲渡したことなどにより、1,775百万円(前年同期比30.6%減)となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、マーケティング費用の減少やエステ事業の売却に伴う収益性の改善により、前年同期に比べて147百万円改善し、50百万円の営業損失となりました。

(２)財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて5,532百万円減少し、81,316百万円となりました。この要因は、流動資産の減少4,169百万円および固定資産の減少1,363百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少419百万円、有価証券の減少3,849百万円およびたな卸資産の減少785百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、減価償却の実施などによる有形固定資産の減少419百万円、無形固定資産の減少414百万円、投資有価証券の減少198百万円および保証金の減少による投資その他の資産の「その他」の減少331百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,932百万円減少し、10,373百万円となりました。この要因は、流動負債の減少1,833百万円および固定負債の減少99百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少864百万円、未払法人税等の減少835百万円および賞与引当金の減少412百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、繰延税金負債の減少などによる固定負債「その他」の減少116百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,600百万円減少し、70,942百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少2,047百万円および自己株式の取得による減少1,591百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べて1.3ポイント上昇し、86.6%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は29,025百万円となり、前連結会計年度末より797百万円増加いたしました。当第３四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,778百万円（前年同期は2,794百万円の収入）となりました。この内訳の主なものは、減価償却費2,213百万円、たな卸資産の増減額758百万円および売上債権の増減額338百万円などによる増加と、仕入債務の増減額840百万円および法人税等の支払額1,352百万円などによる減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,870百万円（前年同期は2,595百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、有価証券の売却及び償還による収入3,861百万円による増加と、有形固定資産の取得による支出1,345百万円および無形固定資産の取得による支出555百万円などによる減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,926百万円（前年同期は2,215百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、自己株式の取得による支出1,720百万円および配当金の支払額2,161百万円などによる減少であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月14日の決算発表時に公表した平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の通期業績予想を下記の通り修正いたします。

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
前回発表予想	78,500	△5.2	1,100	△71.5	1,300	△70.6	△300	―	△4.62
今回修正予想	79,500	△4.0	2,700	△30.0	3,000	△32.2	750	―	11.56

売上高は、化粧品関連事業においてファンケル化粧品が当初計画を上回って推移していることから、前回予想を1,000百万円上回る79,500百万円となる見込みです。

損益面では、当初計画を上回る増収に伴い売上総利益が増加したことに加え、栄養補助食品関連事業の新製品の販売計画の見直しに伴い一部経費の支出が計画を下回ることなどにより前回予想よりも増益となり、営業利益は2,700百万円、経常利益は3,000百万円、当期純利益は750百万円となる見込みです。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,720	19,514
受取手形及び売掛金	10,071	9,652
有価証券	13,359	9,510
商品及び製品	2,834	2,423
仕掛品	43	13
原材料及び貯蔵品	3,176	2,832
その他	1,995	2,429
貸倒引当金	△70	△413
流動資産合計	50,131	45,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,673	22,283
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,729	△13,624
建物及び構築物（純額）	8,944	8,658
機械装置及び運搬具	6,563	6,674
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,314	△5,578
機械装置及び運搬具（純額）	1,249	1,095
工具、器具及び備品	7,332	7,371
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,233	△6,255
工具、器具及び備品（純額）	1,098	1,116
土地	10,216	10,216
リース資産	326	264
減価償却累計額及び減損損失累計額	△213	△173
リース資産（純額）	112	91
その他	32	57
有形固定資産合計	21,655	21,236
無形固定資産		
その他	3,796	3,382
無形固定資産合計	3,796	3,382
投資その他の資産		
投資有価証券	7,327	7,129
その他	3,937	3,606
投資その他の資産合計	11,265	10,735
固定資産合計	36,717	35,354
資産合計	86,849	81,316

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,383	1,519
未払法人税等	932	96
賞与引当金	933	521
ポイント引当金	1,434	1,463
事業撤退損失引当金	－	244
資産除去債務	2	5
その他	4,236	4,237
流動負債合計	9,922	8,089
固定負債		
退職給付引当金	1,593	1,624
役員退職慰労引当金	54	71
資産除去債務	498	467
その他	236	120
固定負債合計	2,383	2,284
負債合計	12,306	10,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	51,906	49,859
自己株式	△333	△1,924
株主資本合計	74,074	70,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	11
その他の包括利益累計額合計	6	11
新株予約権	461	495
純資産合計	74,542	70,942
負債純資産合計	86,849	81,316

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	62,603	59,807
売上原価	20,358	18,881
売上総利益	42,245	40,926
販売費及び一般管理費	39,847	39,213
営業利益	2,397	1,713
営業外収益		
受取利息	84	54
受取配当金	150	10
為替差益	27	122
保険返戻金	4	1
雑収入	169	159
営業外収益合計	438	348
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	38	4
雑損失	29	39
営業外費用合計	67	43
経常利益	2,768	2,018
特別利益		
固定資産売却益	－	0
新株予約権戻入益	－	0
現物配当に伴う交換利益	107	－
特別利益合計	107	1
特別損失		
固定資産売却損	－	14
固定資産除却損	14	151
減損損失	268	12
店舗閉鎖損失	59	118
訴訟関連損失	－	223
関係会社株式売却損	－	136
事業撤退損	－	891
その他	15	4
特別損失合計	357	1,552
税金等調整前四半期純利益	2,518	466
法人税、住民税及び事業税	609	218
法人税等調整額	234	87
法人税等合計	843	306
少数株主損益調整前四半期純利益	1,674	160
四半期純利益	1,674	160

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,674	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	4
その他の包括利益合計	10	4
四半期包括利益	1,684	164
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,684	164
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,518	466
減価償却費	2,558	2,213
減損損失	268	12
株式報酬費用	119	133
のれん償却額	56	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	12	360
賞与引当金の増減額（△は減少）	△409	△403
ポイント引当金の増減額（△は減少）	74	29
退職給付引当金の増減額（△は減少）	40	30
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	16	16
事業撤退損失引当金の増減額（△は減少）	－	244
受取利息及び受取配当金	△235	△64
為替差損益（△は益）	△33	△85
関係会社株式売却損益（△は益）	－	136
固定資産売却損益（△は益）	－	13
固定資産除却損	14	151
店舗閉鎖損失	59	118
訴訟関連損失	－	223
事業撤退損	－	275
現物配当に伴う交換利益	△107	－
売上債権の増減額（△は増加）	△316	338
たな卸資産の増減額（△は増加）	42	758
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△155	△132
その他の固定資産の増減額（△は増加）	8	32
仕入債務の増減額（△は減少）	△234	△840
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△585	320
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△26	△16
その他	△25	△55
小計	3,659	4,280
利息及び配当金の受取額	223	75
法人税等の支払額	△1,088	△1,352
訴訟関連損失の支払額	－	△223
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,794	2,778

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	－
有価証券の売却及び償還による収入	4,000	3,861
有形固定資産の取得による支出	△1,698	△1,345
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△1,336	△555
無形固定資産の売却による収入	－	2
投資有価証券の取得による支出	△4,000	－
投資有価証券の売却及び償還による収入	200	0
関係会社出資金の払込による支出	－	△44
関係会社株式の取得による支出	△203	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△108
貸付けによる支出	△76	－
貸付金の回収による収入	47	25
その他の支出	△74	△32
その他の収入	45	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,595	1,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	－	6
自己株式の取得による支出	△0	△1,720
配当金の支払額	△2,179	△2,161
その他	△35	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,215	△3,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	73
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,989	797
現金及び現金同等物の期首残高	25,056	28,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,066	29,025

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化粧品関連事業	栄養補助食品関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,980	20,327	55,307	7,296	62,603	－	62,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	34,980	20,327	55,307	7,296	62,603	－	62,603
セグメント利益又は損失（△）	2,589	1,370	3,960	△197	3,762	△1,364	2,397

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△1,364百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化粧品関連事業	栄養補助食品関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,348	19,142	53,490	6,317	59,807	－	59,807
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	34,348	19,142	53,490	6,317	59,807	－	59,807
セグメント利益又は損失（△）	2,843	380	3,224	△50	3,174	△1,461	1,713

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△1,461百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

平成26年１月15日開催の当社取締役会において、会社法第236条、第238条および第240条第１項の規定に基づき、当社の使用人および当社関係会社の使用人に対して、以下のとおりストック・オプションを付与することを決定いたしました。

１．付与対象者および人数
　当社の使用人および当社関係会社の使用人　2,993名
２．新株予約権を割り当てる日
　平成26年２月24日
３．新株予約権の数
　15,953個
４．新株予約権の目的である株式の種類
　普通株式
５．新株予約権の目的である株式の数
　1,595,300株（新株予約権１個当たり100株）
６．新株予約権の行使時の払込金額
　平成26年２月24日に決定する
　（１株当たりの払込金額は、平成26年１月１日から平成26年１月31日の当社普通株式の終値の平均値と平成26年２月24日の終値のいずれか高い金額とする。）
７．新株予約権の行使期間
　平成28年１月16日から平成31年１月15日まで
８．新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額
　未定